

今年度から3年かけて、阿賀野川流域のSDGsを探るパネル作品シリーズを制作します!

公害編  
2024年制作  
予定



阿賀野川流域地域  
水と大地のSDGsをさぐる

清らかな水を守り活かす持続可能な豊かさとは?

大地編  
2025年制作  
予定



大河編  
2023年制作

大河編

2023年制作



流域とSDGs／水源の森と清流／豊かな川魚・漁／  
電源・ダム開発／洪水との闘い／農業用水&排水／  
新潟水俣病の発生／大河を活かして

▼パネル作品の一部



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

下記3つの視点から、パネル作品の内容を考えます。



### 阿賀野川流域のSDGsに関する3つの視点

SDGsに掲げられた17の目標のうち、新潟水俣病問題が今なお続く阿賀野川流域地域に関すると思われる9つの目標を選び、それらを「環境」「人権」「地域」の3つの視点から整理してみました。



**目標6**  
安全な水とトイレを世界中に



**目標14**  
海の豊かさを守ろう



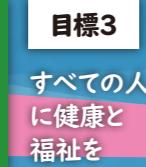
**目標15**  
陸の豊かさも守ろう



**環境**



**目標3**  
すべての人に健康と福祉を



**目標4**  
すべての人に健康と福祉を



**目標10**  
質の高い教育をみんなに



**目標11**  
質の高い教育をみんなに



**目標9**  
産業と技術革新の基盤をつくろう



**目標11**  
住み続けられるまちづくりを



**目標12**  
住み続けられるまちづくりを



**地域**

## 阿賀野川流域地域

# 水と大地のSDGsをさぐる 大河編

特集  
3

清らかな水を守り活かす持続可能な豊かさとは?

※SDGs:Sustainable Development Goals(=持続可能な開発目標)の略称。詳細はP.2参照。

阿賀野川流域における光と影の歴史や文化、現在の様々な取組を、

「大河」「公害」「大地」の3つの切り口からまとめ、阿賀野川流域のSDGsを探ります。

2023年度のパネル展では、阿賀野川の水の行方や過去の「水との闘い」を振り返り、

清らかな水を守り活かす現在の取組を紹介する【大河編】です。

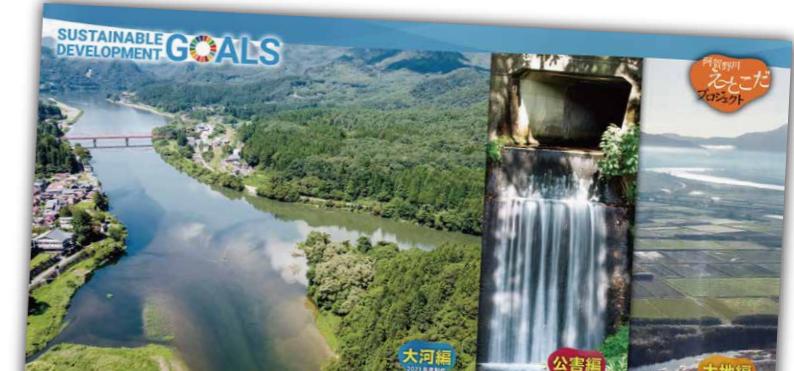
### ■ 開催期間

2024.1/6 ~ 2024.3/30

### ■ 今後の開催スケジュール(※下表参照)

主催 新潟県

共催 新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町



### ■ お問合せ&企画



一般社団法人

あがのがわ環境学舎

TEL&FAX 0250-68-5424

今後の  
展示予定  
観覧無料

### 観覧された皆さんのご意見・ご感想

●川は恵みと水害が裏と表の関係であることがわかった(阿賀野市・70代) / ●昔の写真が多く使われていて懐かしい(新潟市北区・80代) / ●近くに新潟水俣病の被害者の方がいるが、切実な問題。プロジェクトを頑張ってほしい(新潟市江南区・60代)

展示期間	展示施設	展示時間・備考
2/19(月)~3/7(木)	阿賀町役場鹿瀬支所ロビー	9:00 ~ 16:30 毎週土曜・日曜休館
2/29(木)~3/13(水)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00 ~ 19:00 每週金曜休館 日曜10:00 ~ 17:00
3/9(土)~3/30(土)	道の駅「阿賀の里」	9:00 ~ 16:00
3/15(金)~3/24(日)	ラボルテ五泉 ガレリア	9:00 ~ 22:00



これまでに、安田ショッピングセンターウインディ・新潟市秋葉区文化会館・新潟市北区文化会館・阿賀野市立図書館・北方文化博物館(屋根裏ギャラリー)・NEXT21(アトリウム)・新潟市東区役所(南口エントランスホール)での巡回展示を実施しました。

▶▶▶上記巡回展の終了後も、県立環境と人間のふれあい館にて4/13(土)~5/12(日)の間展示(時間●9:30 ~ 16:30 / 備考●毎週月曜(曜が休日の場合はその翌日)休館)



# 阿賀野川流域をテーマとした写真集を2冊紹介

// 昨年2023年に出版されたばかり! //



▲家族で炭を焼く

**あがのがわの息吹**  
HAIKU&PHOTOGRAPH  
山口冬人俳句&写真集  
(株式会社博進堂)  
2,800円(税込)



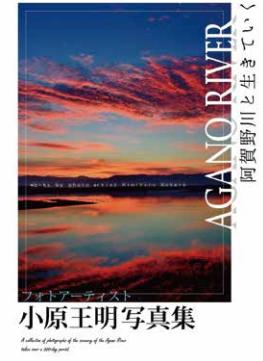
▲ヘリから阿賀野川を空撮

## AGANO RIVER

-阿賀野川と生きていく-

小原王明写真集  
(新潟日報メディアネット)

3,500円(税込)



阿賀町を中心に、大河・阿賀野川とその支流が生み出す四季折々の自然や風土を、そこに関わる人々の営みも含めて繊細に切り取った、100点以上の写真を収録。山口冬人氏が過去に詠んだ30句の俳句も添えられている。

お問合せ先 写真工房冬人 ☎ 0254-92-4345



山口 冬人 (やまぐち ふゆと) さん

本名、村山勝実。1953年、新潟県東蒲原郡阿賀町(旧津川町)生まれ。俳句は高校時代から始め、20歳から写真関連の仕事に就く。2000年頃に新潟市から津川に戻り、写真工房冬人を営むかたわら、阿賀町を中心阿賀野川流域の自然や風土を撮影。09年に最初の写真集「奥阿賀の魅力 水と緑と雲海の阿賀路」を出版。

阿賀野川の美しい情景や、そこに生息する鳥たちの愛らしい姿、我々が守るべき自然の姿、ヘリでの上空からの空撮。現代の人間社会へのメッセージを含めた、80点以上の写真作品を収めた、フォトアーティスト・小原王明氏による写真集。

お問合せ先 新潟水俣病阿賀野患者会 ☎ 025-244-0178



小原 王明 (こはらきみはる) さん

1948年、東京生まれ。中学2年から機関車を撮り始める。33歳の時に新潟へ転勤、55歳で一線を離れ、自然系カメラマンに。阿賀野川の白鳥を撮影するため、大阿賀橋に300日間通い続ける。2014年に新潟水俣病阿賀野患者会と出会い、18年に最初の写真集「AGA MINAMATA -水俣病は終わらない-」を出版。

## 「阿賀野川え～とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

### 阿賀野川え～とこだ！憲章（事業理念）

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。（阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会）

### 編集後記

第38号はいかがでしたでしょうか？

1965(昭和40)年に発生した新潟水俣病の公式確認から今年で59年目、来年には60年を迎えます。ここ数年も高橋なんぐさんを始め、新たに様々な方々や団体から関わっていただき、新しい取組や試みが紹がれています。今後も様々な情報を発信して参りますので、ご都合がよろしい方は、ぜひイベント等にお気軽にご参加ください！



### 今号表紙の写真「寶来寺の村中大般若」

阿賀町富実の馬取集落にある寶来寺に伝わる「村中大般若」は、江戸時代から約150年続く伝統行事で、毎年1月28日に行われます。大般若経の入った木箱を檀家さんが担ぎ、住職と共に集落を一軒一軒歩いて回り一年の無事を祈ります。

阿賀野川え～とこだ!流域通信  
<https://aganogawa.info/>

// エ～とこだよりのバックナンバーも見れます！//



阿賀野川え～とこだより 第38号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2024年3月1日

企画編集:一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424

aganogawa@niigata.email.ne.jp